



シリウスビジョングループ事業状況と今後の見通し 2025年12月期決算説明

-

シリウスビジョン株式会社
辻谷 潤一

2026年 2月 16日

目 次

シリウスビジョンのミッションとビジョン

- オンリーワン画像検査基幹技術
-

シリウスビジョン再建計画(Sirius Restructuring Plan)進捗

- 経営課題と再建計画によるコスト削減効果
 - 希望退職募集等による役職員数の減少
-

シリウスビジョングループ事業状況

- 2025年12月期決算説明
 - 今後の見通し
-

シリウスビジョンが目指す近未来

シリウスビジョンのミッション、ビジョン、行動指針

ミッション

オンリーワン画像検査技術で世界の製品品質の向上に貢献し、
人々の生活に豊かさと幸福をもたらす

ビジョン

世界NO.1の画像検査システムを開発し
モノづくり現場の目視検査ゼロを目指す

行動指針

オンリーワン技術、ナンバーワン製品、ファーストワン行動

シリウスビジョンのオンライン画像検査基幹技術とAI

過検知を究極まで抑制する画像検査基幹技術と熟練検査員同等の判断力を持つAIにより、目視検査をゼロに

過検知を究極まで抑制する画像検査基幹技術とAI

位置合わせ・伸縮補正

多点位置合わせと特殊差分によって印刷による伸縮・傾きと位置ずれを補正

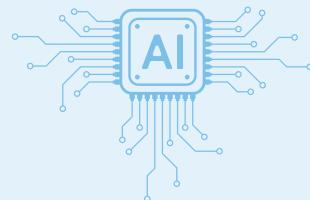


見当ずれ許容処理

良品範囲の見当ずれ・位置ずれは検出せず欠陥部のみ検出

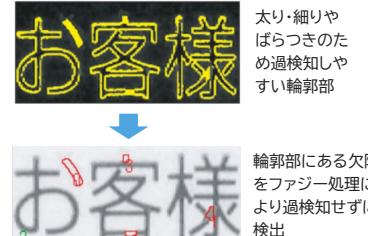


画像検査基幹技術と
AIの融合により
**良・不良判定
を自動化**



輪郭ファジー処理

独自の輪郭ファジー技術により、欠陥対象となるもののみ検出



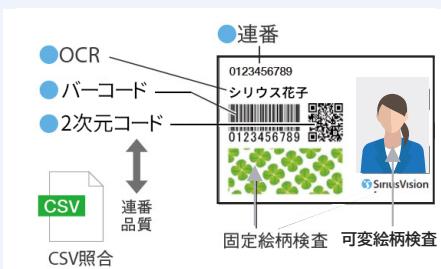
非線形歪除去 スマートフィット

独自の非線形歪み除去処理により、局所的な伸縮や曲がり、歪を除去



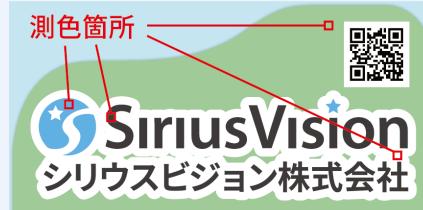
可変印刷検査とグレード検証

固定印刷面とバーコードなどの1枚ごとに異なる内容(可変印字)検査を同時に実行
※全可変検査とグレード検証も可能



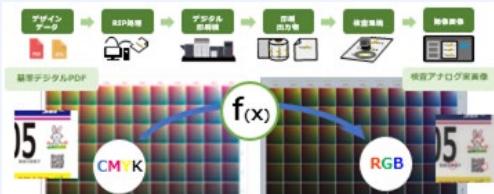
測色機能(ΔE ・Lab*測定)

オペレーターが指定した任意の測色箇所の色情報を測定し数値で出力。
測定できる色情報は、RGB、S H Gray、CMYK、XYZ、Lab*、 ΔE の17種類



色変換機能

デジタルのカラー画像データを検査目的に応じた特定のカラースペースに変換



• —

シリウスビジョン再建計画進捗 Sirius Restructuring Plan(SRP)

参照: <https://siriusvision.co.jp/wp-content/uploads/SiriusVision251114SRP.pdf>

2021年～2025年の振り返りと経営課題

2021年～2025年

国内画像検査事業の年平均売上成長率15%以上を目指し、
新製品・新技術のための研究開発投資と人材採用(国内人員倍増)
5年間で合計約15億円の先行投資

- ◆ 営業人材育成の遅れに伴う新製品の販売遅延、および主力のラベル市場における設備投資低迷により、年平均売上成長率は7%に留まる
- ◆ 社員急増(42人から80人に約2倍増)によるピラミッド組織化と管理人事の問題、育成した人材の退職
- ◆ 新型コロナウィルス発生時の電子部品長納期問題に伴う長期在庫保有と売上計画未達で、資金繰りが厳しい状況に
- ◆ 海外(中国・ASEAN)事業も低迷が続き、海外人員はリストラ実行、1/2以下に削減

経営課題に対するSRP(事業再建計画)アクション

経営課題

成長に向けた研究開発や人材への積極投資をおこなったが、
売上計画は未達となり、営業収支と在庫管理の問題が資金状況に影響を与えた

SRPアクション

1

役員報酬削減

代表取締役3割、
取締役2割、他

2

事務所コスト削減

渋谷オフィス解約、
横浜ラボと
大阪技術センター再編

3

研究開発凍結

受注案件の原価となる
開発のみ実施

4

海外事業縮小

国内画像検査事業に
集中

5

人員削減

希望退職募集等により
28人削減(25%減)

6

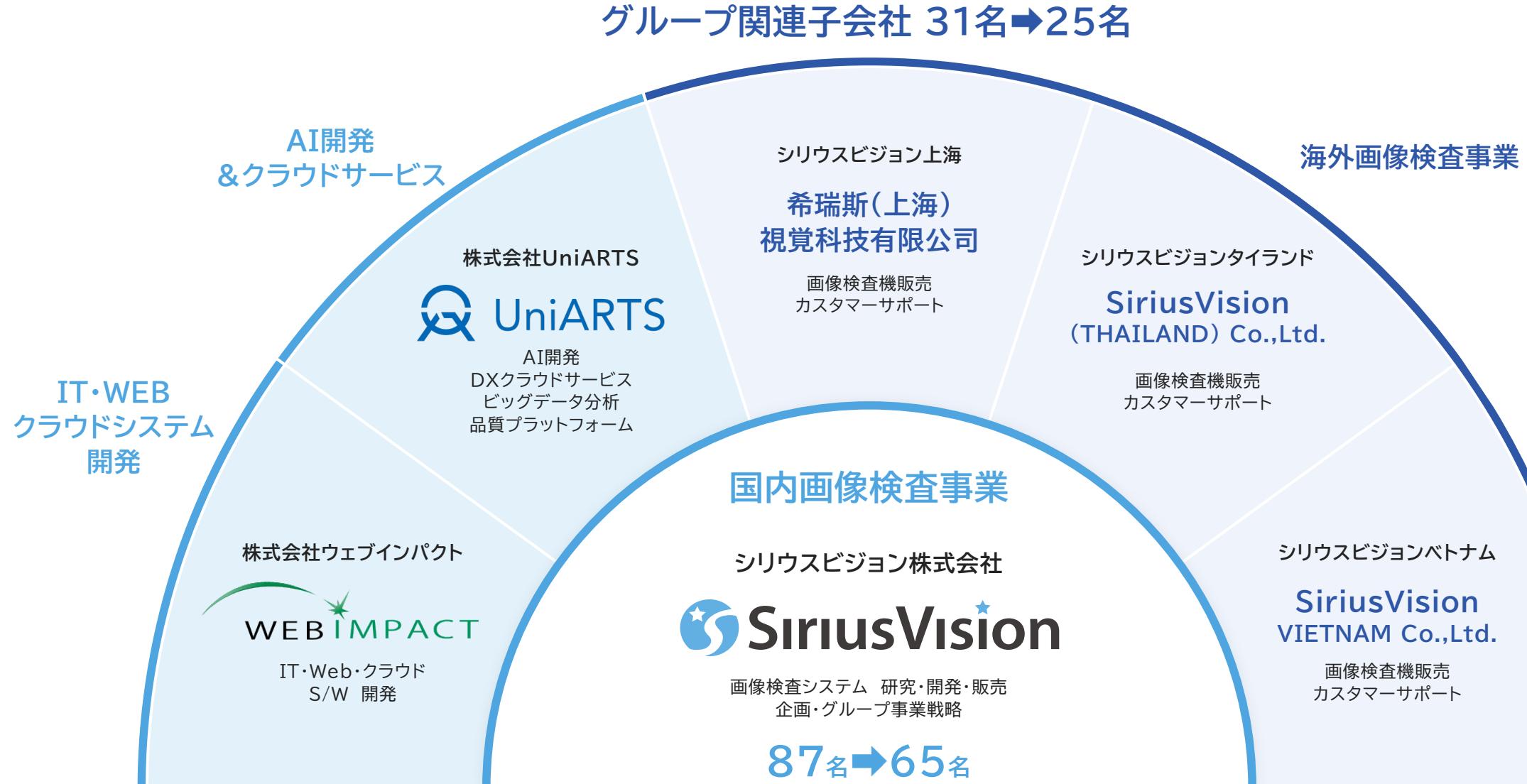
役員人事変革

若手世代による
経営体制へ

2026年12月期 年間販管費の削減予想額
150百万円以上

希望退職募集などによる役職員数変化:半年で28名(24%)減

118名(2025.6.30)→90名(2026.1.1)



• —

シリウスビジョングループ事業状況 2025年12月期決算説明と今後の見通し

シリウスビジョングループ事業状況: 2025年12月期決算

2025年度シリウスビジョングループ業績

- ◆ グループ連結売上高 = 20億64百万円(前連結会計年度23億14百万円に対し10.8%減少)
- ◆ グループ連結営業利益 = △1億40百万円(前年同期は△1億12百万円)

国内画像検査事業状況

- ◆ ラベル印刷・加工設備投資の先送りのため売上減少が続いた
 - ラベル印刷品質検査用ソフトウェア「AsmilVision」を搭載したラベル検査機の売上が低調に推移
 - 2025年後半から設備投資が回復傾向、ラベル印刷検査機の受注が増加に転じ、2026年に販売増の期待
- ◆ グラビア印刷および紙器・パッケージ印刷市場における設備投資も低迷
 - グラビアシリンダー検版機「GRACE」と高速広幅検査用ソフトウェア「PolarVision」の売上低迷
- ◆ ボトル・容器印刷検査機売上が伸長、長期間低迷していたカード検査機の売上・受注が増大
- ◆ 刷り出し検版機「S-Scan LNC」は、大手印刷会社への複数台の導入など好調に推移
- ◆ 2025年10月29日にリリースした小型卓上検査機「エスコメット(S-Comet)」の引き合い増大
 - 各種印刷物、ボトル・容器、アクリルスタンド、家電製品の銘板、半導体・電子基板など幅広い業界から注目
 - 目視検査をAIによる自動検査に置き換える、現場に優しい画期的検査機であると評価され、引き合い増

研究開発投資により生み出した新型検査機「S-Comet」2025.10.29リリース

業界初※1 10ミクロンの高精細検査を実現。AI搭載で“目視検査ゼロ”へ

電子基板の卓上型品質検査機「S-Comet(エスコメット)」シリーズ

※1:軽量小型・高精細品質検査機(当社調べ)

S-Comet



- ◆ A4サイズまで対応した標準モデル。
- ◆ コンパクトサイズで置くだけ、その場で検査
- ◆ AIにより目視検査ゼロを実現

S-Comet-BOX



- ◆ 自由度が高い仕様で検査対象に応じてカスタマイズ可能
- ◆ 検査困難な光沢製品の反りや浮き等にも対応
- ◆ AIにより目視検査ゼロを実現

項目

仕様

本体標準サイズ 400mm(W) × 400mm(D) × 470mm(H) 約10kg

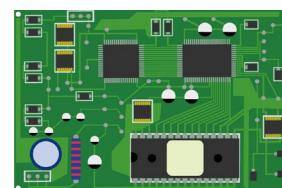
検査対象サイズ A4サイズまで(S-Comet)
※S-Comet BoxはA4～A3サイズまで(カスタム対応によりA3以上のサイズ可)

採用カメラ エリアカメラ 300dpi～2400dpi相当

分解能 10 μm/画素～85 μm/画素 ※分解能は検査視野に依存

照明 S-Comet:本体一体型LED照明(バックライト搭載)
S-Comet Box:LEDフラットドーム、バックライト等

検査対象 電子基板、ウエハ、半導体、電子部品、銘板、ラベル、カード、アクリルスタンド、各種部品・成形品



シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期決算

国内画像検査事業における減損損失計上

- ◆ 国内画像検査事業における減損損失計上総額=542百万円(第2四半期445百万円、第4四半期97百万円)

AIとDX・クラウドサービスの株式会社UniARTS

- ◆ AIを主軸にした製品開発・販売に注力
 - ラベル印刷メーカーや紙器・パッケージ製造メーカーへ、UniARTSのAIシステム「AI印刷検査」の導入進行
 - 2025年11月14日に新製品として発表した、利用者による学習が不要の新AI「Regulus」は、印刷業界だけではなく、半導体・ウエハー・電子基板業界からも注目

ウェブソフトウェアとクラウドサービスの企画・開発・運営を行う株式会社ウェブインパクト

- ◆ プロダクト販売とシステム運用サービス、受託開発が堅調
 - 「WEB給(給与明細サービス)」、「Sync(スケジューラ同期サービス)」、「QUICK GATE(スキームチケット販売サービス)」などのプロダクト販売や、システム運用サービスが引き続き堅調に推移
 - 受託開発売上と、申請審査クラウドシステムの官公庁向けの売上も堅調

研究開発投資により生み出した新AI「Regulus」 2025.11.14リリース

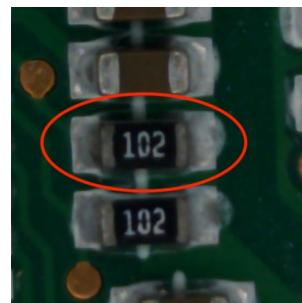


Regulus

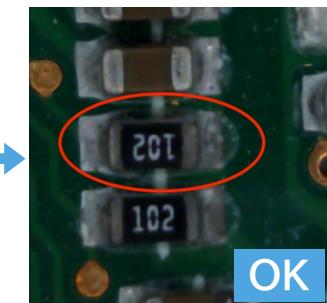
業界初^{*1} 学習不要^{*1}の新AI「Regulus(レグルス)」を
卓上型品質検査機「S-Comet」に搭載
本AIで手間のかかる学習用不良品画像データ集めが不要に

*1:ユーザーによる学習が不要の外観品質画像検査用AI（当社調べ）

- ◆ ディープラーニング(深層学習)による学習モデルの作成が不要
- ◆ 目視検査員の良・不良判定基準を言葉で「Regulus」に指示しておくと、
その基準どおりに自動検査可能
例:「チップ抵抗器の印字の向きが反転していても良品としてほしい」と言葉で
指示すると、その指示に従って「Regulus」が良・不良を判定
- ◆ 電子基板とともに、半導体、電子部品、ウエハー、ラベル、銘板、ボトル、
カード、化粧品、医薬・医療品、各種成形品の外観品質検査機や印刷品質
検査機に搭載可能。これらの製品を製造する工場の生産自動化(ファク
トリー・オートメーション)に貢献

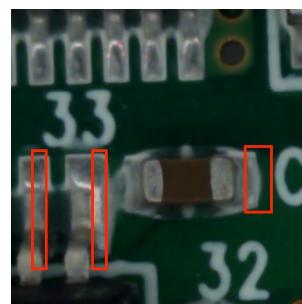


基準画像

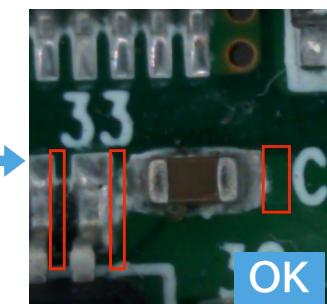


検査画像

チップ抵抗器の
上下反転を
Regulusが
良品と判定



基準画像



検査画像

電子部品の
位置ずれを
Regulusが
良品と判定

シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期決算

海外画像検査事業状況:シリウスビジョン上海(中国)

◆ 長期の経済不況が続く

- 大幅な人員削減、オフィス移転・縮小・撤収、その他固定費の圧縮など構造改革を断行、赤字体質脱却を目指す
- 当社画像検査ソフトウェアを採用している中国機械メーカーとの連携を強化し、最小のリソースで、当社の画像検査ソフトウェア技術を中国市場へ浸透させる営業活動を実行
- 当社画像検査ソフトウェアを搭載した中国製検査機を日本の顧客へ販売(輸出)

海外画像検査事業状況:シリウスビジョンタイランド・ベトナム(ASEAN)

◆ 依然として事業環境は厳しく、業績への寄与は限定的

- 前連結会計年度までに実施した固定費削減策の効果はあり
- さらなる収益性の改善に向けて、営業・技術連携の強化や現地運営体制の見直しに取り組む
- 現地人員体制の適正化(退職によるコスト削減)を実施し、固定費の一層の圧縮を実施
- 既存顧客の支援に注力しつつ新規営業活動を最小限にとどめ、国内(日本)画像検査事業を支援する体制へ移行
- 当該地域における事業の持続可能性および収益性を総合的に勘案し、今後の事業展開については、事業規模の見直しや撤退を含めたあらゆる選択肢を視野に入れ、慎重に検討

シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期グループ連結損益計算書

(単位:千円)

	YR2025	YR2024	増減額	増減率
売上	2,064,763	2,314,764	△250,001	△10.8%
営業利益	△140,550	△112,426	△28,123	—
経常利益	△126,617	△84,965	△41,651	—
親会社帰属利益	△731,214	△162,606	△568,607	—

シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期単体損益計算書

(単位:千円)

	YR2025	YR2024	増減額	増減率
売上	1,622,550	1,795,293	△172,742	△9.6%
営業利益	△229,896	△171,486	△58,409	—
経常利益	△153,042	△90,368	△62,674	—
当期純利益	△793,346	△410,038	△383,307	—

シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期グループ連結貸借対照表

(単位:千円)

	YR2025	YR2024	増減額	増減率
総資産	2,576,031	3,193,608	△617,576	△19.3%
負債	791,443	645,594	145,849	22.6%
純資産	1,784,587	2,548,014	△763,426	△30.0%

シリウスビジョングループ事業状況:2025年12月期単体貸借対照表

(単位:千円)

	YR2025	YR2024	増減額	増減率
総資産	2,230,272	2,858,426	△628,154	△22.0%
負債	695,254	494,523	200,730	40.6%
純資産	1,535,018	2,363,902	△828,884	△35.1%

シリウスビジョングループ事業状況:事業再建計画(SRP)実行と今後の見通し

事業再建計画(SRP)実行によるグループ事業構造およびコスト構造の抜本的な改革

- ◆ 役員報酬削減 済 と技術開発拠点の再編による事務所コストの低減 進行中
- ◆ 研究開発投資の凍結によるコスト体質改善 済
 - 新規機械・新型ソフトウェア開発に関わる設備・人材投資の削減
- ◆ 国内事業体制の再構築に伴う希望退職優遇制度を遂行 済
- ◆ 海外拠点のリストラと海外事業体制の再編 済
- ◆ グループ事業構造の見直しと再構築に向けた検討 進行中

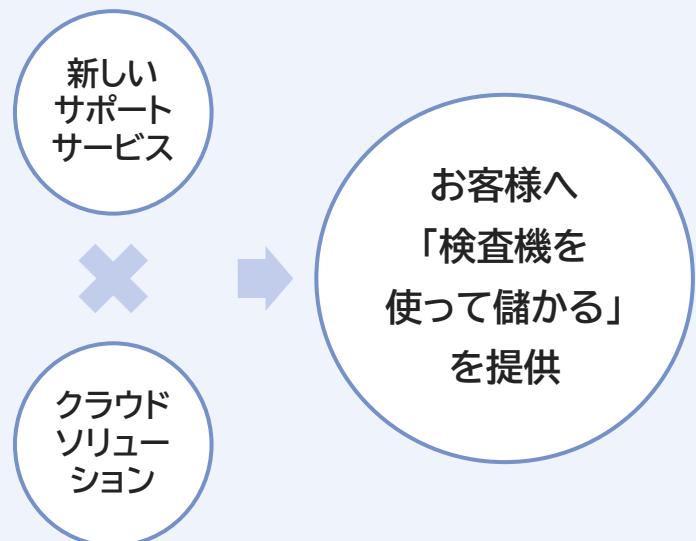
今後の見通し、グループ連結業績予想と修正版中期経営計画公表時期

- ◆ 画像検査機開発部門と画像検査ソフトウェアの研究開発部門の要員を、営業技術・顧客サポート部門にシフト
- ◆ 既存顧客向けに、新たなソフトウェアサポートサービスを提供する仕組みを構築(収益構造改革)
 - 技術サポート業務の効率化とリピート営業の促進により、画像検査事業の利益向上を図る
- ◆ グループ連結業績予想と修正版中期経営計画の公表時期
 - 2026年12月期のグループ連結業績予想については、売上高20億80百万円、営業利益1億10百万円、経常利益1億20百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を予想
 - 修正版中期経営計画は、当初予定の2026年2月公表を延期し、グループ事業再構築が明確になる4月以降に公表予定

収益構造改革

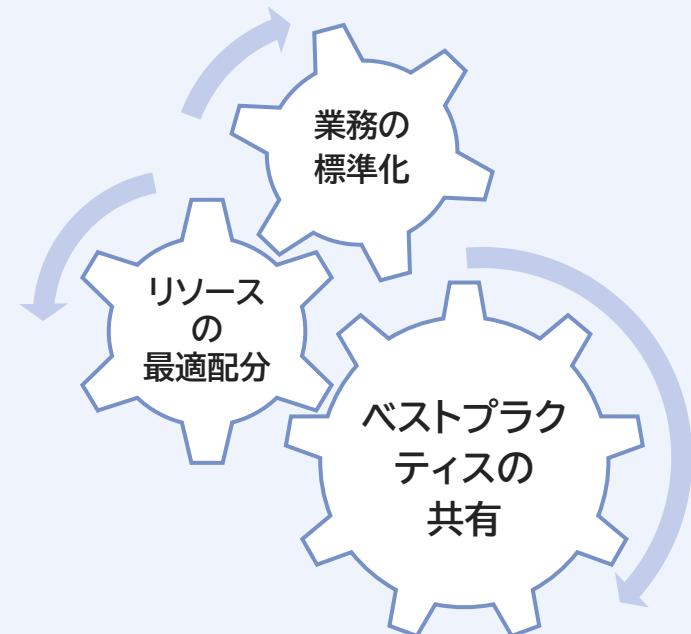
検査機の単発売上依存から脱却し、定期収益を強化し、収益基盤の安定化を図る

お客様への価値提供・CS向上



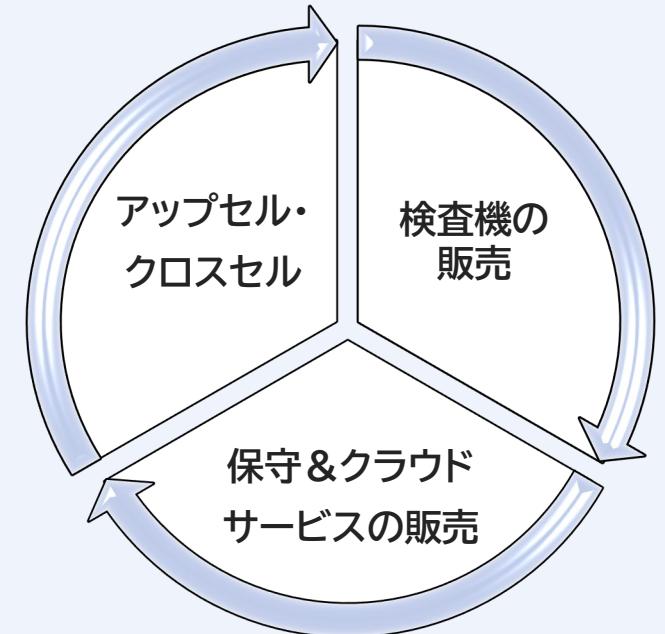
サービス提供ルールを再整備し、
UniARTS Lite版を付帯サービスとして
提供開始

持続可能な仕組みづくり



属人化から脱却し、CRMシステムの改修開発により、サービス提供状況の可視化と一元管理を実現

企業価値の創造



顧客価値の継続提供から
LTVとNRRの向上へ
LTV: ライフタイムバリュー
NRR: ネット・レベニュー・リテンション

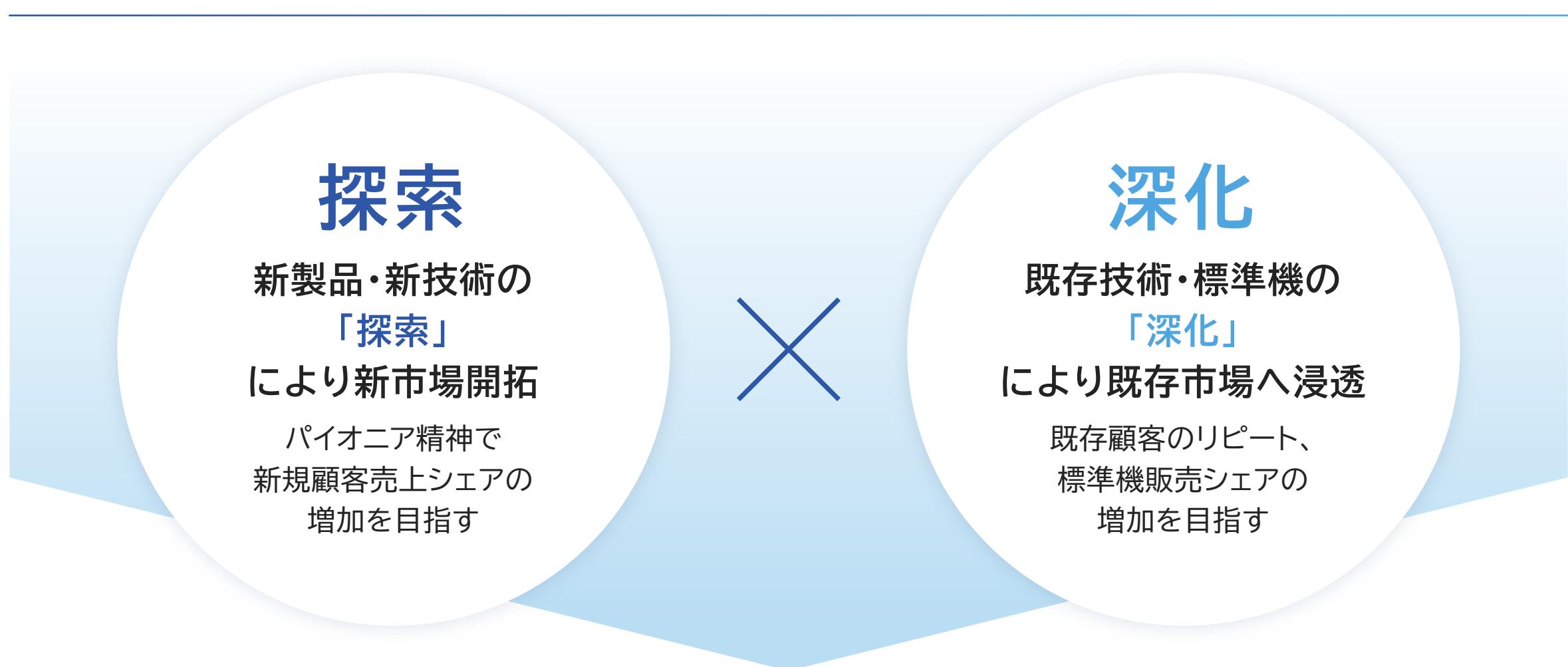


シリウスビジョンが目指す近未来の姿

シリウスビジョンのプロダクトポートフォリオ: PPM分析



目標達成のための指針

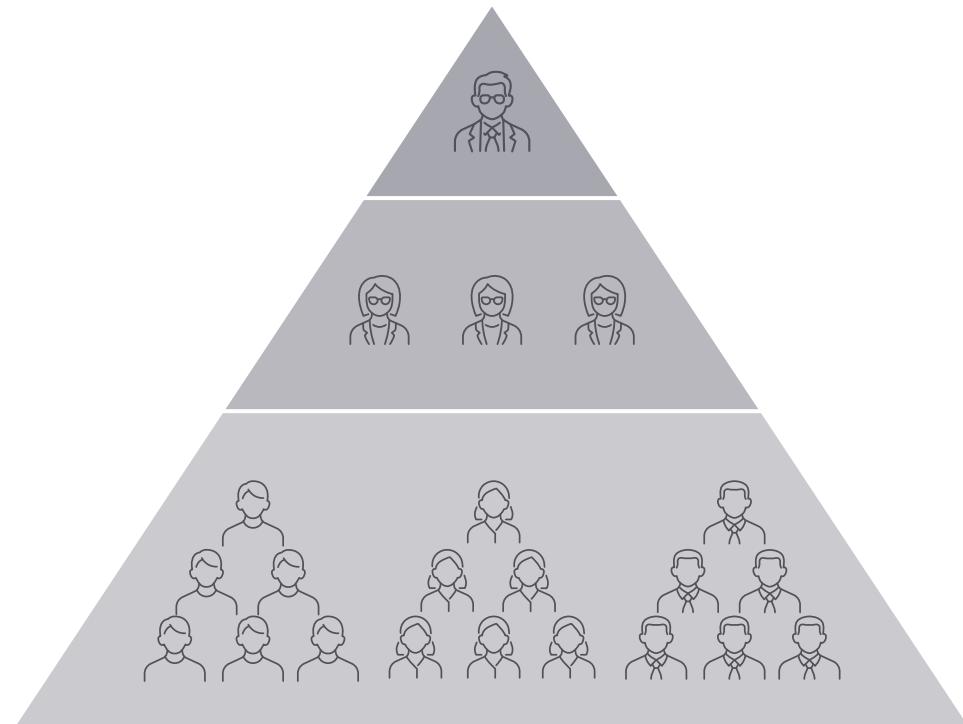


モノづくり現場の**目視検査をゼロに**

ピラミッド組織からアジャイル型組織へ

ピラミッド型組織

- ◆ トップダウンによる意思決定
- ◆ 権限・責任の一極集中
- ◆ 数値や案件を管理するワークマネージメント



アジャイル型組織

- ◆ 現場主導による意思決定
- ◆ 権限・責任の自立分散
- ◆ 人のやる気を引き出し任せせるピープルマネージメント

部門横断的なチーム編成



意思決定の
迅速化

イノベーションの
創出

顧客価値の向上

人材育成

シリウスビジョンが目指す近未来の姿

指針

- ◆ オンリーワン画像検査関連技術で目視検査ゼロを目指し、世界の製品品質向上と生産工場自動化に貢献する
- ◆ 画像処理技術とAI・クラウドサービス技術で“探索と深化”
 - 電子基板検査市場は“探索”、印刷検査市場は“深化”により、シリウスビジョンのオンリーワン画像検査技術が活きる市場に浸透

目標

- ◆ 配当＝復配(10円以上)、流通株式時価総額＝30億円以上
- ※ 業績目標については、2026年4月(以降)に発表する修正中期経営計画に記載

若手経営と働きやすい職場環境創り

- ◆ 30歳台-40歳台を中心の経営体制、社員平均年齢は30歳台を目指す
- ◆ 「平等性」・「透明性」・「安心性」・「適応性」を追求
- ◆ 4つの毒素(「非難する」・「守りの姿勢」・「壁を作る」・「侮辱する」)を排除し安全・安心・健康が維持できる職場環境を創る

ありがとうございました

